

対ベナン共和国 事業展開計画

2018年 4月 現在

基本方針 (大目標)	国民生活の改善に貢献する持続的成長及び貧困削減支援
---------------	---------------------------

重点分野 1 (中目標)	インフラ整備
-----------------	--------

開発課題 1-1 (小目標) 質の高いインフラの整備	【現状と課題】 ベナンは、西アフリカ地域の要衝であるにも関わらず、脆弱な道路インフラや不安定な電力供給などにより持続的な経済成長を達成できずにいる。ベナン政府は「政府行動計画 (PAG) (2016-2021)」の重点分野の一つとして官民連携によるインフラ整備を挙げ、1,300km強の道路インフラ整備、電力システムの近代化やコトヌ自治港の拡張等に乗り出している。他方、資金不足や技術レベルの低さからベナン一国のみでの十分なインフラ整備は困難であり、同計画の実施にはパートナー国・機関からの支援が不可欠な状況である。			【開発課題への対応方針】 ベナンの持続的成長の促進に向け、我が国の優れた技術力を活かしつつ、経済・社会活動の基盤となる質の高いインフラの整備を行う。西アフリカ「成長の環」広域開発戦略的マスタープランにも留意しながら、道路インフラ、エネルギー開発や都市開発分野において、気候変動・自然災害に対して強靱で、環境保全に配慮した支援を実施する。						支援額 (億円)	備考		
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間								
					2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度			2022 年度	
	基盤インフラ整備 プログラム	ベナンの持続的成長の促進に向け、道路インフラ、エネルギー開発等の分野を視野に基盤インフラの建設・整備を実現する。	コトヌ都市圏機能強化にかかるインフラセクター情報収集・確認調査(道路整備)	情報収集調査	■								
			コトヌ都市圏機能強化にかかるインフラセクター情報収集・確認調査(港湾計画)	情報収集調査	■								
コトヌ立体交差建設・道路改良計画準備調査			協準			■■■■■■■■■							
インフラ整備及び維持管理関連の課題別研修等			課題別研修他	■■■■■■■■■									

重点分野2 (中目標)	産業振興											
開発課題2-1 (小目標) 経済の産業化	<p>【現状と課題】</p> <p>近年、現金収入確保のために村落部住民の首都周辺への流出が激しく、国民の食料需要を担うべき第一次産業の伸び悩みが大きな課題となっている。一方で、食料価格高騰や、2.8%（2016年、世界銀行）という高い人口増加率に伴う食料需要増加への対応も重要課題である。加えて、1990年以降はプラス成長を記録しているものの貧困率を下げるまでの持続的な経済成長には至っておらず、また、経済成長にもかかわらず貧困率は下がっておらず、地域間格差が拡大しており、主に一次産業に従事している村落部住民が貧困層となっている。</p> <p>地域間格差是正のためには、一次産業における生産性の向上、市場へのアクセス強化が重要となる。このような状況から、ベナン政府は政府行動計画（PAG）（2016-2021）の中で、農業、畜産、水産の開発を重点分野に定め、付加価値の高い農業関連産業の育成及び多様化、並びに農業インフラの近代化に取り組んでいる。</p>			<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>国全体の持続的な経済発展を実現するためには、国民の大部分が住んでいる農村部コミュニティの生活向上を行うことが必須である。第一次産業（水産・農業）振興による住民の栄養状態の改善（動物性タンパク質の確保）と現金収入機会の多様化に積極的に取り組むと共に今後の経済の担い手となる産業人材の育成を行っていく。</p>								
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	経済産業化プログラム	農漁村住民の生計向上・食料安全保障の確立のため、内水面養殖の普及や農業の近代化支援等を通じて第一次産業の振興を図ると共に産業人材の育成を行っていく。	内水面養殖普及プロジェクト フェーズ2	技プロ	2017年度以前	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	7.50	
			農漁村開発分野の課題別研修	課題別研修他								
			稲作、水産分野の第三国研修	第三国研修								
			農漁村開発分野の青年海外協力隊	JOCV								
			食糧援助(平成29年度)	食糧援助							3.20	
			産業振興分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.80	
			アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)「修士課程およびインターンシップ」プログラム	国別研修								
			産業人材育成分野の課題別研修等	課題別研修他								
			産業人材育成分野の第三国研修	第三国研修								
			稲作等を通じたアフリカ食料安全保障復興支援・技術実証普及事業	マルチ								農林水産省拠出金(アフリカ稲センター(Africa Rice)拠出)
アフリカ食料安全保障情報整備支援事業			マルチ								農林水産省拠出金(国連食糧農業機関(FAO))9ヶ国対象	

重点分野3 (中目標)	国民生活の環境改善											
開発課題3-1 (小目標) 基礎教育の改善	【現状と課題】 ベナン政府は、2006年に就学前・初等教育の完全無償化政策を打ち出した。その結果、ベナンの初等教育の総就学率は近年大幅に改善されたものの、修了率・留年率は依然改善されていない。公立学校の教育の質（教員の指導力不足、学校運営能力不足）及び無償化政策に伴う生徒数増加による絶対的な教室不足と教室の過密化による教育環境の改善が課題となっている。			【開発課題への対応方針】 我が国が掲げている就学率の上昇に伴い、更なる教室数増加、地方教育行政官・教員育成が必要なことから、「平和と成長のための学びの戦略」を念頭に、無償資金協力を通じた施設建設、技術協力による教育の質改善の取組と学校運営改善も含めた基礎教育の環境改善を目指す。								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	基礎教育改善支援プログラム	初等教育では、無償資金協力（施設建設）、技術協力（研修）及び青年海外協力隊（JOCV）によって、基礎教育における修学環境の整備・改善を目指す。また、中等教育レベルでは、草の根無償をはじめJOCVや課題別研修等により、教育の質向上のための協力を実施する。	基礎教育分野の青年海外協力隊	JOCV	2017年度以前	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
			基礎教育分野の課題別研修等	課題別研修他								
			アトランティック県小学校建設計画	無償							14.57	
基礎教育改善支援分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力			草の根無償							2.63		
開発課題3-2 (小目標) 保健・医療サービスの向上	【現状と課題】 ベナンの5歳児未満児死亡率は1000人当たり85.3人、妊産婦死亡率は100,000人当たり340人と依然として高く、重点的な支援が必要である。また、とりわけ中・北部に十分な医療施設が不在であったり、必要な医療器具や緊急時の運送手段が未整備であるために迅速な医療サービスの提供が困難となっている。			【開発課題への対応方針】 ベナンの医療分野、とりわけ母子保健分野における現状に鑑み、SDGsのゴールに掲げられているユニバーサル・ヘルス・カバレッジを目指し、保健行政の能力強化、施設整備や医療従事者の育成に取り組む、基礎的保健・医療サービスへのアクセスを改善する。現在建設中の「アラダ病院」を当該保健行政地域の拠点病院として機能強化し、保健・医療サービスの質の改善に取り組む。								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	保健・医療環境改善プログラム	無償資金協力により現在建設中の「アラダ病院」を軸として主要地域の保健・医療環境の改善に取り組む。また、JOCVによる住民に対する健康に関する啓発活動を継続する。病院の質の改善につながる5S-KAIZEN活動を継続する。	アトランティック県アラダ病院建設・整備計画	無償	2017年度以前	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	19.00	
			医療マネージメント・質改善アドバイザー	個別専門家								
			保健・医療分野の青年海外協力隊	JOCV								
			保健・医療分野の課題別研修等	課題別研修他								
			母子保健分野の第三国研修	第三国研修								
保健・医療分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力			草の根無償							0.50		

開発課題 3-3 (小目標) 飲料水アクセスの改善	【現状と課題】 ベナン政府は「政府行動計画(PAG)(2016-2021)」に掲げられた7つの戦略軸の一つとして飲料水の給水改善を掲げており、2021年までに全ての国民が飲料水にアクセスできる環境作りを目指している。現状では、村落給水率は67.6%、都市・準都市部給水率は84%と厳しい状況であるが、ベナン政府は3つの給水事業を含む45のパイロット事業で投資を先行し、官民の資金を動員することで目標の達成を目指している。			【開発課題への対応方針】 全ての国民が安全な飲料水にアクセスできる環境作りを進めるベナン政府の努力を支援する。								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間							
					2017年度以前	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	支援額 (億円)	備考
	飲料水アクセス改善プログラム	全ての国民が安全な飲料水にアクセスできる環境作りを進めるベナン政府の努力を支援する。	グラスエ市及びダッサズメ市における地下水を活用した飲料水供給計画	無償	■	■	■	■	■	■	10.71	
		水分野の課題別研修	課題別研修他		■							
		水分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■						0.42		

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「個別研修」(=個別研修)、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「中小企業支援」(=中小企業海外展開支援事業「基礎調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査)、実線「——」(=実施期間)、破線「- - -」(=実施予定期間)